HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中 広俊
2025／9／8
No.17

9月8日提出！！八地申第2号

「電車線モニタリングの導入エリア拡大について」に関する申し入れ提出！

7月15日に「電車線モニタリングの導入エリア拡大について」の提案を受けました。
電気部門では、「変革2027」で掲げた電気部門のミッションを達成するために各種取り組みを進め、架線設備のメンテナンスにおける取り組みとして、電車線モニタリングの導入エリアの拡大を行うと説明がありました！
しかし、職場の組合員からは、「職場実態と乖離していないか」「今まで以上に作業が綿密になり作業量が増えるのではないか」等の不安の声が挙げられています。
「安全が経営のトッププライオリティー」の名のもとに、安全が担保された施策でなければいけません。
さらには安全レベルの向上、技術継承といった課題にも向き合う必要があります。
9月8日に以下の6項目を申し入れ、今後団体交渉をおこなっていきます。

1. 2024年4月実施「電車線モニタリングの導入エリア拡大について」以降の成果と課題を明らかにすること。また導入エリアを拡大できる根拠を示すこと。
2. 管理者と一般社員が行う業務を混合することなく、それぞれの業務を明確にすること。
3. 電車線モニタリングの画像確認するための必要な設備を確保すること。また電車線モニタリングの導入以降の事象や処置内容を職場で共有できるようにすること。
4. 安全レベル向上の観点から、技術継承できる体制を構築すること。また、必要な教育・訓練は実施すること。
5. 事故・事象が発生した際、責任追及ではなく原因究明を行うこと。また個人の責任としないこと。

以上

安全・健康で働きがいのある職場を私たちの声からつくっていこう！